

変更事項の内容

新	旧
<p>【「構造改革特別区域計画」中】 1～7 略</p> <p>8 特定事業の名称 <u>1 1 3 2 (1 1 4 4、 1 1 4 6)</u> 修了者に対する基本情報 技術者試験の午前試験を 免除する講座開設事業</p> <p>(以下、略)</p>	<p>【「構造改革特別区域計画」中】 1～7 略</p> <p>8 特定事業の名称 <u>1 1 3 2 (1 1 4 4)</u> 修了者に対する基本情報技術者試験 の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>(以下、略)</p>

新	旧
<p>別紙</p> <p>1 特定事業の名称 番号 <u>1132 (1144、1146)</u> 名称 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を 免除する講座開設事業</p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 学校法人宮崎総合学園 宮崎情報ビジネス専門学校 <u>学校法人都城コア学園 都城コアカレッジ</u></p> <p>(以下、略)</p> <p>3 略</p> <p>4 特定事業の内容 (1) 略</p>	<p>別紙</p> <p>1 特定事業の名称 番号 <u>1132 (1144)</u> 名称 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を 免除する講座開設事業</p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 学校法人宮崎総合学園 宮崎情報ビジネス専門学校 <u>学校法人都城コア学園 都城コンピュータ・福祉医療専 門学校</u></p> <p>(以下、略)</p> <p>3 略</p> <p>4 特定事業の内容 (1) 略</p>

新	旧
<p>(2) 修了認定の基準</p> <p>○ (1) の履修計画のうち、基本情報技術者講座（サーティファイ併用コース1～2）については、民間資格を取得するための試験「情報処理技術者能力認定試験（2級）」を受験し合格並びに第1部科目合格した者であって、当該講座の出席率（別添1～2のとおり）をもって履修した者について、修了認定に係る試験を受験できる有資格者と定める</p> <p>また、宮崎情報ビジネス専門学校並びに都城コアカレッジにおいて、平成17年4月1日以降に民間資格を取得するための試験「情報処理技術者能力認定試験（2級）」を受験し合格並びに第1部科目合格した者であって、平成18年4月から実施されている旧特区計画の基本情報技術者講座（FE-12コース又はFE-13コース又はFE-14コース）を履修している者に対し、基本情報技術者講座（サーティファイ併用コース1～2）の履修科目と重なっている科目のうち、履修済の科目については、履修したものとみなし、未履修科目のみを基本情報技術者講座（サーティファイ併用コース1～2）において履修することにより修了認定に係る試験の受験資格を与えるものとする。</p> <p>なお、サーティファイ・情報処理技術者能力試験における2級第1部科目合格者を2級の資格の合格者として取り扱う。</p> <p>よって、これらの有資格者に対し当該試験を実施し、（株）サーティファイが定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。また、(3)の規程により独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施した場合は、IPAの定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。</p>	<p>(2) 修了認定の基準</p> <p>○ (1) の履修計画のうち、基本情報技術者講座（サーティファイ併用コース1～2）については、民間資格を取得するための試験「情報処理技術者能力認定試験（2級）」を受験し合格並びに第1部科目合格した者であって、当該講座の出席率（別添1～2のとおり）をもって履修した者について、修了認定に係る試験を受験できる有資格者と定める</p> <p>また、宮崎情報ビジネス専門学校並びに都城コンピュータ・福祉医療専門学校において、平成17年4月1日以降に民間資格を取得するための試験「情報処理技術者能力認定試験（2級）」を受験し合格並びに第1部科目合格した者であって、平成18年4月から実施されている旧特区計画の基本情報技術者講座（FE-12コース又はFE-13コース又はFE-14コース）を履修している者に対し、基本情報技術者講座（サーティファイ併用コース1～2）の履修科目と重なっている科目のうち、履修済の科目については、履修したものとみなし、未履修科目のみを基本情報技術者講座（サーティファイ併用コース1～2）において履修することにより修了認定に係る試験の受験資格を与えるものとする。</p> <p>なお、サーティファイ・情報処理技術者能力試験における2級第1部科目合格者を2級の資格の合格者として取り扱う。</p> <p>よって、これらの有資格者に対し当該試験を実施し、（株）サーティファイが定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。また、(3)の規程により独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が提供する問題を使用して修了認定に係る試験を実施した場合は、IPAの定める合格基準を満たした者について、修了を認定する。</p>

新

(3) 略

(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目

資格名称：情報処理技術者能力認定試験（2級）
 試験科目：情報処理技術者能力認定試験（2級第1部）
 当該民間資格を取得するための試験の試験項目：表に示すとおり（○印部分）

出題内容		2級
テクノロジ系	1 基礎理論	
	1 基礎理論	
	基数変換、データ表現、演算と精度、理論演算など	○
	確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など	○
	符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など	○
	伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）	○
	2 アルゴリズムとプログラミング	
	データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど）	○
	流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など）	○
	プログラム構造、データ型など	○
	プログラム言語（種類と特徴など）	○
	2 コンピュータシステム	
	3 コンピュータ構成要素	
	コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど	○
	主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど	○
	補助記憶装置や媒体（種類と特徴、性能計算など）	○
	入出力インタフェース（種類と特徴など）	○
	入出力装置（種類と特徴、性能計算など）	○
	4 システム構成要素	
	システムの利用形態、システム構成など	○
クライアントサーバシステム、RAIDなど	○	
システムの性能、信頼性、経済性など	○	

旧

(3) 略

(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目

資格名称：情報処理技術者能力認定試験（2級）
 試験科目：情報処理技術者能力認定試験（2級第1部）
 当該民間資格を取得するための試験の試験項目：表に示すとおり（○印部分）

サーティファイ(情報処理技術者能力認定試験)試験項目		2級
1 情報の基礎理論		
基礎変換、データ表現、演算と精度、理論演算、符号理論		○
状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語		○
計算量と情報量		○
2 データ情報とアルゴリズム		
データ構造、アルゴリズムの基礎		○
流れ図、決定表、BN 記法、ポーランド記法		○
各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率		○
3 ハードウェア		
半導体と集積回路		○
プロセッサ、動作原理		○
メモリ、記憶媒体、補助記憶装置		○
入出力インタフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体		○
コンピュータの種類と特徴		○
4 基本ソフトウェア		
OSの種類と構成		○
プロセス管理、割込み制御		○
主記憶管理、仮想記憶		○
入出力制御、ジョブ管理		○
ファイル管理、障害管理		○
ヒューマンインタフェース、日本語処理		○
ミドルウェア		○

新

旧

5	ソフトウェア	
	オペレーティングシステム (タスク管理、記憶管理など)	○
	ミドルウェア (API、ライブラリ、シェルなど)	○
	ファイルシステム (ディレクトリ、ファイル編成など)	○
	言語処理ツール (コンパイラ、リンカ、ローダなど)	○
	CASE、エミュレータ、シミュレータなど	○
6	ハードウェア	
	基本論理回路、組合せ回路など	○
3	技術要素	
7	ヒューマンインタフェース	
	GUI、帳票設計、画面設計、コード設計など	○
8	マルチメディア	
	オーサリングツール、JPEG、MPEG など	○
9	データベース	
	データベースのモデル、DBMS など	○
	データ分析、データベースの設計、データの正規化など	○
	データ操作、SQL など	○
	排他制御、障害回復、トランザクション管理など	○
	データウェアハウス、データマイニングなど	○
10	ネットワーク	
	インターネット (各種プロトコル、IP アドレスなど)	○
	LAN と WAN (トポロジ、回線、DSU、モデムなど)	○
	LAN のアクセス制御方式、LAN 間接続装置など	○
	OSI 基本参照モデル、HDLC、ネットワーク性能など	○
	ADSL、FTTH、CATV 回線、イントラネットなど	○
11	セキュリティ	
	暗号技術、認証技術、利用者確認など	○
	ウイルスの種類と特徴、ウイルス対策など	○
	不正アクセス、不正侵入、不正行為の種類と対策など	○
4	開発技術	
12	システム開発技術	
	業務分析と要件定義 (DFD、E-R 図、UML など)	○
	モジュール分割と独立性、オブジェクト指向など	○
	構造化プログラミング、コーディングなど	○
	テスト手法、レビュー手法、デバッグツールなど	○
13	ソフトウェア開発管理技術	
	ソフトウェア開発手法 (スパイラルモデルなど)	○
	SLCP、リバースエンジニアリングなど	○

5	システム構成と方式	
	システム構成方式、処理形態	○
	システム性能、信頼性	○
	応用システム	○
6	システム開発と運用	
	プログラム構造、制御構造	○
	プログラム言語、言語処理系	○
	EUC、EUD、ソフトウェアの利用	○
	開発手法、設計手法、テスト手法	○
	開発環境と開発管理	○
	システムの環境整備、運用管理	○
	システムの保守	○
7	ネットワーク技術	
	プロトコルと伝送制御	○
	符号化と伝送制御	○
	LAN とインターネット	○
	電気通信サービス	○
	ネットワーク性能	○
	伝送媒体、通信装置	○
	ネットワークソフト	○
8	データベース技術	
	データベースモデル	○
	データの分析・正規化	○
	データ操作	○
	データベース言語、SQL の利用	○
	DBMS の機能と特徴	○
	データベース制御機能 (排他制御、リカバリ)	○
	分散データベース	○
9	セキュリティ	
	セキュリティ対策	○
	インテグリティ対策	○
	プライバシー保護	○
	可用性・安全対策	○
	リスク管理	○
	ガイドライン	○

新

旧

メンテナンス系	5	プロジェクトマネジメント		
	14	プロジェクトマネジメント		
		コスト見積り (ファンクションポイント法など)	○	
		日程計画 (アローダイアグラムなど)	○	
		進捗管理、品質管理、コスト管理など	○	
	6	サービスマネジメント		
	15	サービスマネジメント		
		ITIL (サービスサポート、サービスデリバリなど)	○	
		コンピュータの運用・管理、システム移行など	○	
	ストラテジ系	7	システム戦略	
		17	システム戦略	
			業務プロセス (業務改善、BPR、SFA など)	○
		8	経営戦略	
		19	経営戦略マネジメント	
経営戦略手法 (コアコンピタンス、PPM など)			○	
マーケティング理論、マーケティング手法など			○	
経営管理システム (CRM、SCM、ERP など)			○	
21		ビジネスインダストリ		
		ビジネスシステム (POS システム、EOS など)	○	
		エンジニアリングシステム (CAD、CAM、MRP など)	○	
		eビジネス (EC、EDI、RFID など)	○	
9		企業と法務		
22		企業活動		
		経営組織 (事業部制組織、CIO など)	○	
		ヒューマンリソース (OJT、CDP、MBO など)	○	
		経営管理と問題発見技法 (PDCA、KJ 法など)	○	
		OR・IE (線形計画法、品質管理、在庫問題など)	○	
		会計・財務 (財務会計、管理会計、リースなど)	○	
23	法務			
	知的財産権 (著作権、産業財産権など)	○		
	ガイドライン (ソフトウェア管理ガイドラインなど)	○		
	標準化団体 (JIS、ISO、IEEE など)	○		
	各種コード (文字コード、QR コード、ISBN コードなど)	○		
	補助単位 (T、G、M、k、ミリ、マイクロ、ナノ、ピコ)	○		

10	標準化	
	開発と取引の標準化	
	情報システム基盤の標準化	○
	データの標準化	○
	標準化組織	○
11	情報化と経営	
	経営管理 (経営戦略、組織と役割、マーケティングなど)	○
	情報化戦略 (業務改善など)	○
	財務会計 (会計基準、財務諸表など)	
	管理会計 (損益分岐点、原価管理など)	
	IE 分析手法、管理図	○
	確率と統計	○
	最適化問題、意志決定理論	○
12	表現能力	
	発表技術	
	文章の書き方	
	マルチメディアの利用	